

踏み跡 <My Mountains>



所属部署の慰安旅行で鹿沼の厚生年金休暇センターへ行くことになった。例によって、「せっかくだからどこか山でも・・・」との発想から行き先を探し始めた。北関東のユーザーを担当していた頃に、東武線の観光案内資料で目にとまった「古賀志山」でも歩いてこようという結論に達した。どちらかと言えば低山なので、この山は秋から冬が適しているだろうと思っていたから、12月上旬はちょうど適期だろう。

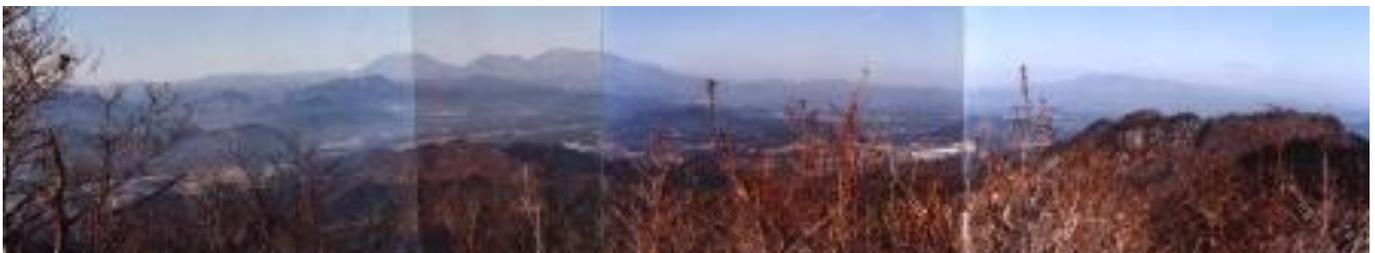
平成元年12月2日
 厚生年金休暇センター鹿沼（後にウエルサンピアと改称）に三々五々集まり、我が部の秋の旅行。

平成元年12月3日
 朝食後解散、天気は快晴、ここからが我が山旅が始まり。目指す古賀志山は休暇センターの真北に位置する。



県道宇都宮今市線に出てしばらく進み、古賀志町から細い道に入り正面に見える古賀志山に向かって進んで行く。(左写真)
 程なくして古賀志山登山口という標識のある場所に到着した。車を置いて、ここからは歩き。途中に岩場や鎖場もありはしたが、さほどの体力を使わずに頂上に到達できる手軽な山。

海拔 582.8mと低山中の低山ではあるが、関東平野の北端に位置してすぐ後ろには（北西方向）日光連山が控えている。特徴的な男体山のフォルム、その左には真っ白な白根山、皇海・袈裟丸山、白根山の右には大真名子・女峰・赤薙と連なる日光表尾根。そのずっと右に釈迦ヶ岳・八方が原、遠くに荒海山も姿を覗かせて申し分のない眺め。(下の写真)



視点を変えて関東平野側に目を移すと、霞のかかった平野の中空に筑波山が首を出して眺めに一味加えてくれた。

踏 み 跡 <My Mountains>

12月上旬、高山ではもう冬山だが、ここはまだ晩秋の趣がある。紅葉の色と常緑の木々の色との混ざりあった美しい日本の秋がここにあった。

「山高きがゆえに尊からず」とよく言われるが、まさにそのとおり。

関東山地の最後のひと襷が、平野に落ちる寸前にもうひと固まりの「山」を作ってくれた。地図で見ていると、安蘇・鹿沼の山を中心に宇都宮付近の低山にはそんな趣がある。さらに、日光連山の眺めを楽しむのにも最適な山だった。

以上

古賀志山からの男体山と日光白根
(望遠レンズで迫って見た)

